

## 特記仕様書

|          |                      |          |
|----------|----------------------|----------|
| (1) 工事内容 | ・仮設工事                | 新校舎・旧校舎共 |
|          | ・外壁下地補修工事            | 新校舎・旧校舎共 |
|          | ・シーリング工事             | 新校舎・旧校舎共 |
|          | ・外壁塗装工事              | 新校舎・旧校舎共 |
|          | ・鉄部塗装工事              | 新校舎・旧校舎共 |
|          | ・屋上防水他撤去及び<br>新設防水工事 | 旧校舎のみ    |
|          | ・アルミ笠木新設工事           | 旧校舎のみ    |

### (2) 共通仕様書

特記事項のほかは、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部（以下「官庁営繕部」という）監修、公共建築改修工事標準仕様書（平成22年度版）による。

### (3) 施工の特殊性

本工事は保育施設を運営しながらの施工となる。幼児の就寝時間である午後1時から午後3時までの時間は、音の出る作業は行わないこと。

### (4) 発注者との協議

施工者は、下記の事項が生じた場合は速やかに発注者に通知し、その処理方法について協議のうえ決定する。

- (1) 予期できない特別な事情が発生し、工事仕様書に示された条件を満たすことができない場合。

### (5) 軽微な変更

設計内容の変更は発注者と協議の上行う。但しその内容が軽微なものは請負金額の増減をしないこととする。

### (6) 設計変更・数量変更

- (1) 発注者の希望により前項に該当しない設計変更が生じた場合は、原則として予め見積書を提出し、発注者の承認の上、別途取り決めの上、着手する。
- (2) 施工者は施工数量について、契約時に確認できない部位を除き、その数量を実査によって予測し、工事完了時等に契約時の単価・数量・金額等を増減させないことに努める。尚、下地補修に関しては実数にて精算を行う。

## (7) 成果品の提出

- (1) 施工者は原則として、工事完了報告書を工事完了後30日以内に発注者へ提出する。
- (2) 工事完了報告書の内容は下記の内容を原則とする。
  - a. 工事引渡書
  - b. 使用材料一覧表・色彩表
  - c. 出荷証明書
  - d. 各検査報告書
  - e. 産業廃棄物処理台帳・マニフェスト伝票A・E票写し
  - f. 定期点検誓約書
  - g. 下地補修図面及び数量集計表
  - h. 変更処理資料
  - i. 工事写真